



奄美群島が日本に復帰して60周年

区立中村小学校の子どもたちが

区長のメッセージを奄美大島に届けました

28日から31日、奄美群島の日本復帰60周年を祝うために、練馬区立中村小学校（伊藤隆校長）の5、6年生28名が、学校間交流を続けている奄美市立名瀬小学校を訪れ、志村豊志郎練馬区長からのメッセージを届けた。

29日の交歓会では、中村小から折り鶴を使ったくす玉と横断幕を渡し、児童の代表が日本復帰60周年のお祝いを伝えた。

両校の交流は、昭和28年、奄美大島が日本に復帰した年に、「少年使節団」として中村小学校の児童2名が名瀬小学校を訪れたことに始まった。これまでは、社会科や総合的な学習の時間を利用して、ビデオレターのやりとりなどを行っていた。日本復帰40年目からは、相互訪問を行って直接交流し、今回で5回目となる。

メッセージを伝えた児童は、「練習はしていたけれど、あまりにも大きな歓迎で緊張しました。でも、しっかり伝えられたと思います」と話した。

中村小学校の伊藤校長は、「新たな交流の幕開けができ、先達がつくられた奄美大島と中村小学校との絆をさらに太くすることができてうれしい」と話した。



到着時の歓迎のようす



交歓会のようす

【両校の交流の経緯】

昭和28年12月、当時米軍領下より日本に復帰した奄美大島に、中村小学校6年生児童2名と教師が「少年使節団」として来島、これを名瀬小学校児童が歓迎・交流して、講談社の少年向け雑誌「少年倶楽部」に掲載され反響を呼んだのが始まり。平成6年2月に、この時の使節が当時の名瀬小学校歓迎メンバーと再会し、これをきっかけに両校の交流が復活した。

平成9年7月には、中村小学校開校50周年を記念して「新・交流施設団」が名瀬小学校に派遣され、44年ぶりの交流が実現した。その後、平成11年7月には、「名瀬小学校少年使節団」が中村小学校を訪問し、平成15年7月には、中村小学校から「新・少年使節団Ⅱ」が来島した。そして、平成16年12月には、「名瀬小学校少年使節団」が中村小学校を訪問した。

【事前の学習会】

三つのグループに分かれ、交歓会の準備を行った。東京都の紹介グループ、練馬区、中村小学校の紹介グループ、そして、60周年をお祝いするグループがそれぞれ工夫を凝らした発表になるように取り組んだ。全校児童も、一人一羽の折り鶴を折り、使節団の友達にお祝いの気持ちを託した。

【問い合わせ】 区立中村小学校 電話 03-3990-4241